

とんだばやし認定調査通信（3号）



この特記事項の内容についてどう考えますか？

2-2. 移動（介助の方法） 【判断に迷う特記事項の例】

杖を使って移動しており妻が見守るときもある。外出時は常に妻がそばで見守っている。
「選択 見守り等」

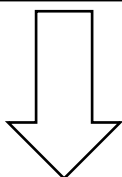
【判断に迷う点(気になる点)】

外出時は常に妻の見守りがあるようだが、自宅内での移動は、見守りがあるときとないときのどちらが多いのか？ また、その見守りは『常時の付き添いが必要な見守り』なのか。

【定義】(調査員テキストより)

「移動」の介助が行われているかどうかを評価する項目である。
ここでいう「移動」とは、「日常生活」において、食事や排泄、入浴等で、必要な場所への移動にあたって、見守りや介助が行われているかどうかで選択する。

POINT !



自宅内での必要な場所への移動はどうなっているか確認が大切です。

外出時の移動に関しては評価に含みません。

つまり、自宅内は介助なく移動しており、外出時のみ見守りや介助がある場合は、「介助されていない」となります。

(※ただし、評価には含まれませんが介護の手間がかかるので特記事項への記載は必要です。)
また、自宅内でも場面によって介助が異なる場合は頻回な状況で選択します。

【わかりやすい特記事項の例】(「介助されていない」の場合)

自宅内の移動は杖を使用しており、自室横のトイレには介助なく移動(7~8回/日)。食卓へは妻が付き添い移動(3回/日)。外出時は妻が横について見守りを行っている。



読み手に伝わりやすい特記事項の記入にご協力をお願いします。

※市町村によって解釈に違いがある場合もありますので、ご注意ください。